

ワークショップアンケート

Fundamental of Quantum Mechanics and Its Applications

量子力学の基礎と応用

日付： 2009年5月13日～5月15日

回答数 26 件（講師 10、参加者 11、聴講者 2、その他 2、不明 1）

1. 講義内容

優良(22), 良(3), 可(0), 不可(0), 未回答(1)

- ・ 皆さん素晴らしかった！

2. 会場設備

優良(23), 良(3), 可(0), 不可(0)

- ・ 素晴らしいミーティング環境だ！

3. 食事

優良(19), 良(7), 可(0), 不可(0)

4. エクスカーション

優良(21), 良(5), 可(0), 不可(0)

5. 事務局

優良(24), 良(1), 可(0), 不可(0), 未回答(1)

6. 旅行手配

優良(25), 良(1), 可(0), 不可(0)

7. 沖縄の印象

優良(22), 良(4), 可(0), 不可(0)

8. その他のご意見、ご提案

- ・ 素晴らしい機関だ！
- ・ 講師は素晴らしいのに聴衆があまりいない！
- ・ 最高！ありがとう！
- ・ 外村先生と彼のスタッフ、またこの OIST スタッフは、本当に突出した仕事をした。またここに戻りたいと思う。
- ・ 全てが素晴らしかった！ありがとう！
- ・ このミーティングを大いに享受した！新しい交流関係を得て、新しい物理学と技術を学んだ！
- ・ 参加者がポスターの場所まで案内してもらえれば、もっと良かった。ポスターパネル設置場所と講義室はあまり関係がなかったので、ポスターに来る人が少なかった。
- ・ とても良いワークショップだ。
- ・ 5月半ばはイギリスの大学にとって理想的な時期ではない（学生の試験に近い）！
- ・ このワークショップは素晴らしく、私には役立った。
- ・ このワークショップをとっても楽しんだ。この手のミーティングは国際協同研究を拡大するために極めて重要だろう。
- ・ 尽力に感謝。

Okinawa Computational Neuroscience Course (OCNC) 2009

沖縄計算神経科学コース 2009

日付: 2009年6月15日~7月2日

回答数 35 件 (講師 7、チューター6、参加者 22)

1. 以下の点に関して、コースの印象はいかがでしたか

1. 講義内容

優良(13), 良(17), 可(1), 不可(0), 未回答(4)

- ・ 拝聴した講義は素晴らしかった。
- ・ 拝聴した講義はとても良かった。
- ・ 講義は、概ね関連分野の基礎から先端まで取り扱っていた。
- ・ テーマ間の関連付けをもっとはっきりさせたら良いと思った。例えば、私の講義は、Wolpert の講義の前だったらもっと効果的だったかもしれない。
- ・ 多分、私は実験主義者の人の話に偏見がある。
- ・ とくに意見なし。

2. 講師、参加者との午後ミーティング

優良(20), 良(10), 可(3), 不可(0), 未回答(2)

- ・ 学生との午後ミーティングはとても良かった。いろいろなテーマについて充実した議論ができた。
- ・ 良かったが、学生との個人ミーティングがあればもっと生産的だったと思う。グループの中で学生にのびのび自由に話をさせるのはちょっと難しかった。
- ・ 学生は積極的で、自分自身の専攻プロジェクトについて講師と熱心に議論した。
- ・ とても楽しかった。
- ・ 教員との個人(1対1)ミーティングがあれば一層有意義な時間をすごせたかもしれない。
- ・ 実に楽しかった。
- ・ ランチタイムの歓談は不要。科学的テーマについてまじめに議論するのに良い機会。
- ・ ミーティングのテーマは、科学的というより哲学的であった。
- ・ 改善点として、ミーティングの進め方をあらかじめ決めておくやり方もあった - 例えば一般的な議論とする/プロジェクトに関連して問題解決を探る、など。
- ・ 該当せず。

3. 参加者のプロジェクト

優良(13), 良(13), 可(2), 不可(1), 未回答(6)

- ・ プロジェクトの最終ステータスまで見るには至らなかったが、それぞれのプロジェクトについて多数の学生と話をした。それぞれ非常に優れたプロジェクトという印象を受けた。
- ・ この面で実地の経験は乏しかったが、学生のプロジェクトについて学生との議論を楽しんだ。
- ・ 質の高さに感心した。
- ・ もう一度こうした機会があれば、「計算神経科学における適正な研究プラクティス」についてもっと時間を割いて学生を指導したいと思う(私の生徒の大半は、この種の作業に経験がない)。また、次のミーティングまでに達成すべき、具体的な目標を数多く細かく設定したいと思う。
- ・ (私の講師には)プロジェクトの実施のときに大変お世話になった(NESTの学習、モデルの選択)。全般にわたり、たくさん助言をもらった(文献の送達、他の者の関連作業の指摘、ネットワークモデリングの経験の伝授など)。すべての質問にいつでも対応してくれた。
- ・ 自分のプロジェクトでの作業を通じて、たくさんのことを学んだ。
- ・ (私の講師は)とても素晴らしい講師だった。一緒にたくさんのことを学び、モチベーションも大いに高まった。
- ・ 自分自身に限って言えば、もっと多くの時間が必要だった。
- ・ 私の講師、バージットは、自由にやらせてくれて大いに励ましてくれたので私は自分の興味に合ったプロジェクトを進めることができた。バージットの知識はそれほど広くはなく NEST に限定されていたが、気軽に遠慮なく助けを求めることができた。Matthijs と Yann にも大変お世話になった。

- ・ (私の講師は) とても素晴らしかった。
- ・ とくに意見なし。

4. ポスター発表

優良(10), 良(16), 可(3), 不可(0), 未回答(6)

- ・ ポスター発表はまったく見なかった。
- ・ 見逃した。多分、来年は、開会に遅れて到着する教授陣のためにポスターを残すということにすれば良いのでは。
- ・ 見なかった。
- ・ これは見なかった。
- ・ 1日ないし2日間、ポスターをそのまま残すのが良い。全部を見るのは不可能だが、見に行くのは非常に面白い。
- ・ 初日すぎたらポスターを片付けなければならないのは残念だった。例えば、プロジェクト作業中に発生する疑問に答えるなど、後の議論のためにも、そのままにしておくのが有益だと思う。
- ・ 全員を知り、みんなの作業を知るのに、ポスターは非常に効果的である。
- ・ コースの進んだ段階で、追加のポスターセッションがあったらと思う。
- ・ ポスターをもっと長く(コース期間全体にわたってまたは少なくとも最初の週の間)掲示した方が良かったと思う。コースのいろいろなタイミングで、自分のポスターの内容を他の人に紹介したい、あるいは他の人のポスターを見たい(自分の研究に関連するテーマにその人たちが取り組んでいることをあとで初めて知った)と思うことも多かった。
- ・ 短すぎた。3日間にわたるようにすれば良かったと思う。
- ・ コースの導入として良かった。他の参加者を知り、自分と関心を同じくする人を「認識」するのに役立った。
- ・ 他の学生が取り組んでいることを知るのに役立った。
- ・ 最初の週全期にわたってポスターを掲示させた方が面白かったように思われる。
- ・ 第2セッションまでに多数の人が去ってしまうので、最初の2日間に2回ポスターセッションを開くのが良い。
- ・ 特に意見なし。

5. エクスカーション

優良(8), 良(14), 可(7), 不可(0), 未回答(6)

- ・ 該当せず。(3)
- ・ 参加しなかった。
- ・ 私が参加したエクスカーションは、沖縄科学技術大学院大学(OIST)(非常に立派だった)視察とお城見学(面白かった)のみであった。代表的な沖縄観光(シュノーケリング、スキューバなど)のエクスカーションがもっと欲しかった。
- ・ 交通の便に難があるので、自由計画ではなくて、週末には、主催者企画による活動をもっと用意した方が良い。
- ・ 以前にOISTビル敷地を視察したが、その時からの進捗を目にして大変感動した。
- ・ 教授会のため、参加し損なったエクスカーションもあった。
- ・ 勝連城址は、想像以上に素晴らしいところだった。
- ・ 文化的要素がもっとあれば有難かった。教授会のため、お城見学にも参加し損なった。
- ・ 那覇と水族館を見学する企画旅行があれば良かったと思う。自分たちでグループ活動を計画するのが億劫な人たちは、こうした貴重な遺産を見学する機会を逃している。
- ・ ラボ視察は、良かった。お城見学は、あまり良くなかった。水族館の見学があればもっと良かったと思う。ミーティングとぶつかったため、エクスカーションに参加し損なったのは残念だった。
- ・ 特に意見なし。

6. 会場設備

優良(32), 良(3), 可(0), 不可(0)

- ・ 素晴らしかった。ただ、インターネットはやや低速だった。
- ・ 全体に快適で、仕事をするのが楽しかった。空調の関係で少し寒いことがあった。ミーティングルームにもっと延長コードを追加すると良いと思う。☺
- ・ 申し分なし。

7. 宿泊施設

シーサイドファカルティハウジング: 優良(1), 良(0), 可(0), 不可(0)

シーサイドハウス: 優良(26), 良(2), 可(0), 不可(0)

- ・ 講師にはシングル室を用意するのが良いと思う。
- ・ 現場にいられるのは、学生をケアするのに理想的。
- ・ 部屋は快適で眺めも良かった☺。清掃スタッフの仕事も上々で、困ったときにはいつも良くやって

- くれた。
- 完璧。
- 立地、共同エリア、講義／ミーティング施設など、施設は素晴らしかった。但し、寝室の共有は全く心地悪い。

8. 食事

優良(30), 良(4), 可(0), 不可(0), 未回答(1)

- 食事に必ずアレルギーの可能性を伝えるラベルが付いているのは本当に好ましかった。食べ物はともおいしかった。
- 非常に良かったが、食べ物を片付けるのが早すぎるがあった。時間にもっと融通を利かせてもらえると、助かったと思う。
- ミーティング施設での食事は、素晴らしかった。リザンでの食事は良かった。
- ベジタリアンでない者にも、もっと野菜の料理があった方がよかった。
- とっても良かった。
- ありがとう。

9. 事務局

優良(35), 良(0), 可(0), 不可(0)

- お手伝いを良くしてくれた。
- ようこ、あつこ、つゆき、最高だった!!!
- 見事で、非常に親切なスタッフ。大いに感謝。
- いつでも、助けてくれて、答えてくれた◎。協力に大いに感謝している。本当にありがとう。
- 本当に助かった。
- ありがとう。
- 満点!

10. 旅行の手配

優良(24), 良(4), 可(7), 不可(0)

- 旅行の手配は万事すこぶる順調だった。帰国の際、帰りの便のためもう少し早く空港に着いていたかった。搭乗にはまったく問題ないが、空港にはもう少し早く着いているほうが良い。
- 事務局にはお世話になりスタッフ全員に感謝している。
- 旅行規則の責任者に伝えたいこと：旅行手配に関してこれほど困難な経験をしたのは初めて。日本に飛行機で移動するのは楽ではなく、あまり旅行に制限を加えられると、外国人講師にとっては参加する魅力が薄くなる。仕事の代償としてチケットをもらったのである。さらに、自分の休暇で日本国内を旅行するかどうかについてOISTは心配しなくても結構だ。
- ストップオーバー（短期滞在）などに関して、規則の制約が過剰である。自分で追加料金を負担してもっと長く滞在できれば良かったのだが、それすら難しかった。ただ、厳密な規則のなかで、事務局スタッフは、非常に親切であった。このような厳しい規則をどうにかすることを事務局にはお願いしたい。
- 素晴らしかった（ただ、滞在を延ばせないことはいつも気になる）。
- コースの前または後に、数日過ごすことができれば良いと思う。とくに、航空運賃が同じかもっと安ければの条件付きで。
- 非常に順調な運びであった。
- 学生が日本観光やラボ視察ができるなど、旅行手配に融通が利けば、良いと思う。
- 完璧。
- 旅行手配／払い戻しの条件が最初からオープンに明示されていれば、自分で直接照会していたと思う。こちら側の誤解も避けられたと思う。
- コース後もう少し滞在できれば、申し分なし!
- もし東京のラボを視察すれば東京のストップオーバーも可能であることを知らなかったのが残念。

11. その他のご意見、ご提案

- 全体に素晴らしい旅行だった。コースに参加させてもらったことに感謝している。
- ミーティング会場にOISTが夏季教職員室を提供すれば良いと思う。
- （自分の講義でも他の講師の講義でも）講義の時に、集中しているのはおよそ50%で、他の50%の人は自分のコンピュータで作業していて、講義に参加していないようだった。これは理想的な状況ではない。この状況を回避するために、例えば、講義に参加するかどうかを出席者に自分で選択させて、インターネットへのアクセスを制限するなど、主催者は、なにか改善のための策を考えてはどうだろうか。
- 参加者はみな間違いなく多くのことを学んだはずである。組織と施設も素晴らしかった。ただし、

いくつかの点で、コースの内容は学生の学習におそらく最適化されていないのではないかとと思われる。例えば、講義には、多くの学生にとって、実践、問題解決、プログラミング作業を経て初めて理解できるような技術的内容を取り扱っているものもある。

- ・ 部屋とミーティングでのインターネット接続をもっと高速にした方が良い。
- ・ 多くの点でコースはとても良かったが、自分の講師にはあまり満足しなかった。例えばミーティング中の態度などに関して教えるのにおかしなアプローチをしていた。
- ・ Eugene Itzkevich がコースに来られなかったのには本当にかっかりした。
- ・ 提案：
 -) ポスターセッションを午前と午後に分ける。
 -) コース期間中にわたり、スペースを用意してポスターをそのままにしておく。
 -) コース途中で学生に発表の機会を与える。その際には学生のやりたい研究テーマを発表のテーマとする。本人にとっては実際に自分たちのやりたいことに集中することができ、周りの者にとっては議論や協力のパートナーを見つけることが容易になる。コースの最後にも、個々の指導グループ内で、発表の場を設ける。
 -) すべての「作業」終了後に、1日特別に追加すると、自分のプロジェクト以外のことを議論する時間ができる（おそらく、最終日に旅行を計画することになるのではないか、多分那覇か）。
- ・ 他の人たち (Ping, Matthijs) も提案していたが、アドホックなジャーナルクラブを設けて、講師の指導の下で、次の講師の論文を含めて、共通に興味がある論文をいくつか学習するようにする。
- ・ 島を周遊するのにもっと便利な方法があれば、良いと思う。

2. 将来のコースについての提案

1. もし来年もこのようなコースが開催されたら、同僚に申し込みをするよう勧めますか

- ・ はい。(14)
- ・ はい、きっと。(5)
- ・ 絶対に。(2)
- ・ もちろん。(2)
- ・ きっと。
- ・ 間違いなく。
- ・ はい、間違いなく。
- ・ はい！絶対に。
- ・ はい、ただしだれにでもではなく。
- ・ はい。実験主義者の人たちに推薦したいと思っている。ただし、複数の学生から聞いたところでは、このコースは、計算の基礎知識のない学生には適していない。
- ・ はい、間違いなく。このコースは、神経科学のサマーコースのなかで最良の一つである。
- ・ きっと。ただし、コースに改善の余地がないというわけではない。学生になにを学習してもらいたいのか、そこに関心を集中するように講師には促したい、また、そのゴールを達成するのに講義が最善の形態かどうかを考えてもらいたい。学生によっては、チュートリアル（個別指導）／演習がより効果的な形態であるかもしれない。
- ・ はい。コースは自分にはとても有益だった。異なるテーマについて話を聞いたり、研究の関心を同じくする他の人たちと直に顔を合わせる良い機会になった。
- ・ はい。強く推薦したい。
- ・ 絶対に！すでに推薦した！
- ・ はい、そうしたい。ただし、予定講演者のリストを見直しすることを勧めたい。

2. コースの長さ（3週間は長いですか、短いですか）

- ・ 申し分ない。(3)
- ・ ほぼ妥当。(2)
- ・ 自分がいたのは5日間だけ。もう2日間程度長くいられば良かった。
- ・ 妥当な長さだと思う。
- ・ 自分には妥当ではない。自分自身の参加期間（5日間）はちょうど良かった。
- ・ ちょうど良い。
- ・ ぴったり過不足なし。
- ・ 妥当。
- ・ ちょうどぴったり。
- ・ 概ね妥当。
- ・ 外部講師には長い。
- ・ ほぼ妥当であろうが、2週間程度の経験者向け「上級コース」と、隣接分野の人向けの例えば4週間にわたる「基礎コース」の間で選択させるようにすれば最適と思われる。

- ・決して長すぎるということはない。
- ・ちょっと短すぎる。
- ・プロジェクトは講師陣による慎重な管理を必要とするが、このたび学んだことを活かして、この点で次回はきっともっと良い仕事ができると思う。
- ・3週間は、概ね妥当な長さであった。
- ・まったく申し分ない。もっとも、もっと長くても快適に過ごしたと思う。☺
- ・申し分ない期間。
- ・概ね妥当な時間量だと思う。あるいは、もう1週間あった方が良かったかもしれない。
- ・OKであった。
- ・適切。
- ・少し長すぎたが、学生が自分たちのプロジェクトに取り組む場合、必要。コース中に週末が2回あるのも大変良かった。私にとっては沖縄を十分に探策するのに必要であった。
- ・ちょうどぴったりの長さ。
- ・ちょうどぴったり。
- ・若干長すぎる。多分2週間が理想的。
- ・いや、そうは思わない。ぴったり過不足なし。
- ・3週間は妥当。短いのは良くない。プロジェクトの発表後に、もう1日議論したり楽しむのに必要。
- ・ちょうど良い。多分4週間でも。
- ・ちょうどぴったり。これより短かったら、プロジェクトに集中するのが難しかっただろう。もっと長かったら、だらだらするよう促すことになっただろう。
- ・若干長すぎる。多分2週間が理想的。
- ・3週間は妥当な長さ（これより短くしてはいけない）。

3. 講師と参加者の間で十分に交流が持てましたか

- ・はい。(8)
- ・はい。よく準備されていた。一つだけ意見を述べたいのは、私の講義が自身の最終日になっていくということ。私の講義とワークショップの後に他の参加者が私と話ができる時間が数日もてるように、私の滞在を手配してくれていればもっと良かった。しかしこれはとても些細なコメント。滞在はとても楽しかった。
- ・はい。ただ、グループミーティングのスケジュールではなく個人別ミーティングのスケジュールにしたい。
- ・一部のケースのみ。
- ・まあまあレベルだった。
- ・はい。ただし、自分の講義の前より後の方がかなり多かった。次回は、自分の講義が滞在期間の初めになるように、旅行をスケジュールしようと思う。
- ・十分ではなかった。
- ・はい。主に食事の時に。
- ・今年は良かった。
- ・はい。交流できたと思う。
- ・講師による。
- ・改善の余地あり。講師によっては、食事中主に他の講師と話をする傾向があったし、夕食後すぐに席を立っていた。毎週バーベキューをすれば、交流に役立つだろう。
- ・はい。教授陣みな大変近づきやすく感じた。とくにだれかと話をしたければ、それもできたと思う。
- ・はい。これは非常に良かった。
- ・事前に予定されていた教授陣とのミーティングは、非常に有益だった。これで交流しやすくなったと思う。☺
- ・はい。とくに午後の教授会はとても良かった。
- ・そう思う。
- ・おおよそそう思う。参加者が、もっとシーサイドハウス周辺に出ていけば、もっと良かったと思う。しかしもちろんそれぞれにすべき事があるわけだ。
- ・講師によっては話をするのがちょっと難しいこともあった。
- ・十分だった。
- ・講師と学生が同じ場所に宿泊するようにすれば良かったと思う。
- ・講師陣は1台のタクシーで一斉に自分たちのホテルに戻っていった。講師1人につきタクシー1台にしてはどうだろう。夕食後も講師と話をしたかった。
- ・はい。大半の講師はフレンドリーで、交流は、学生の自発性の問題。
- ・はい。午後のミーティングは、教授陣との間の垣根を低くするのに有益だった。夜間、教授陣のためのバス/タクシーの便にもっと融通を利かせることもできるのでは。そうすれば、教授陣も、自身が望む時には、シーサイドハウスにもっと長く居られる。
- ・はい、講師は、しばらくの時間、あちこち動き回ってくれているように感じた。それで、話かけることができた。

- ・ 講師と話をするのがちょっと難しいこともあった。

4. 今後取り上げるテーマや招聘講師の提案

- ・ バランスと重複を最適化する
- ・ 回路遺伝学。聴覚情景分析。
- ・ 生態系／環境などに比重を置いて、システム生物学の方向のテーマでなにか試してもらいたい。
- ・ Matlab (マトラボ) チュートリアル。学生の関心をベースにして、事前準備されたソフトウェアチュートリアルをもっと。
- ・ 単純なモデリングだけでなく、機械学習、認知科学、神経形態工学 (ニューロモーフィックエンジニアリング).....
- ・ Eugene Izikevich が、どうしてもコースに出席できず、講義が聞けなかったのは残念だった。他に講演者として下記を推奨したい。Cristof Koch、Terry Sejnowski、Ad Aertsen、Gyorgy Buzaki、Bruce McNaughton、Edvard Moser、Wolf Singer、Roger Traub、Nancy Kopell、Erl Miller。
- ・ Dietmar Plenz の招聘を推奨したい。彼の最新テーマがこの分野で議論を巻き起こすのは間違いなく、理論と実験を結び付ける興味深い観点を提供してくれるはずである。
- ・ 相関がニューラルコーディングに及ぼす影響 (Bill Bialek/Peter Latham/Sheila Nirenberg/Alex Reyes)、記憶と行動のモデル (Mike Hasselmo)、神経科学における理論とモデルの役割 (Eve Marder)。
- ・ 知覚神経科学、超小型回路、情報理論。講演者の候補として、Gilles Laurent、Karel Svoboda、Edvard Moser、Mike Hasselmo、Michael Brecht、Idan Segev。
- ・ 議論を呼んでいるテーマについて、2人の講師間のディベートを聞きたい。
- ・ 認知神経科学またはシステム神経科学。
 - データ分析方法についての話をもっと聞ければ良いと思う。
 - 非実験主義者として、各種データ記録手法の概要について話が聞ければ興味を抱くと思う (もともと、多分、計算コースのテーマではないかもしれない◎)。
- ・ Idan Segev、Magnus Richardsson
- ・ 神経系における可変性と不変性。
- ・ Salk Institute の Tatyana Sharpee 助教授。彼女は私の友人である。
- ・ 講師本人の個人的研究についての話をもっと少なくてよかった。もう少し一般的な理論について話を聞きたかった。
- ・ もっと理論を増やし、樹状突起は減らす。
- ・ 認知科学者 (Stanislas Deheane、Etienne Koechlin など)。
- ・ この OCNC は、完璧。
- ・ システムレベルの計算神経科学に取り組んでいる人をもっと多く招くことを推奨したい。テーマに情報理論も含めても良い。
- ・ とくに意見なし。

3. OISTについて

1. OIST をどのように知りましたか

- ・ 賢治とのつきあいを通して、以前に OIST を訪れたことがあった。
- ・ このコースから知った。
- ・ このコースを通じて。
- ・ 日本の科学者コミュニティを通じて。
- ・ 銅谷賢治から。
- ・ Erik De Schutter を通じて。
- ・ 自分のラボのメンバーの多くが前に訪れたことがあるか、現在勤務している。
- ・ 最初は、Erik が招いてくれた。
- ・ いろいろな通知を通じて。
- ・ OIST 教授陣の講演招聘を通じて。何人かの友人が講演に招かれた。
- ・ 以前の OCNC 参加者。私自身も、2008 年の意思決定ワークショップのオープンプログラムに参加していた。
- ・ OCNC を通じて OIST のことを聞いた。
- ・ 日本の友人。
- ・ 前に参加したことのある同僚を通じて。
- ・ Comp Neuro のメーリングリスト。
- ・ 私のスーパーバイザーが、前のサマースクールで教えたことがある。
- ・ 以前の参加者から。
- ・ 以前の OCNC 参加者から。
- ・ 教授陣の名前で。

- ・ プロジェクトが始まったときから知っていた。
- ・ 最初は、OCNC を通じて OIST のことを聞いた。
- ・ 同僚。
- ・ スーパーバイザーから以前に薦められた。
- ・ 正直に言えば、このサマーコースで。
- ・ ATR。すでに参加していた学生から。
- ・ ポスドク (Timm Lochmann) と自分の指導教官 (Sophie Deneve) から。
- ・ 銅谷賢治がどこにいるか探していた。
- ・ サマースクールを通じて OIST について聞いた。
- ・ インターネットのリサーチで。
- ・ 計算神経科学サマースクールに出席するつもりだった。
- ・ 前に OCNC に参加した人たちを通じて。
- ・ スーパーバイザーから以前に薦められた。
- ・ 最初 OCNC について聞いたことから。

2. OIST の印象

- ・ 非常にポジティブ。(2)
- ・ 非常に刺激的なところ。
- ・ 良い。
- ・ 素晴らしい。新しい建物が完成した時、今後数年でどのように成長するか楽しみ。
- ・ 良い環境で、予算は十分にあり、国際的。
- ・ 大いなる可能性を宿したユニークな場所である。
- ・ 非常に魅力的で、仕事をするのに良いところ。
- ・ 素敵なスタッフのいる素晴らしい施設。ただし、建設段階で難儀している。
- ・ 日本の大学院大学の革命的構想。
- ・ 本当に素晴らしい教授陣を擁して科学環境は充実している。教授陣との交流も旺盛。また、施設が素晴らしい。
- ・ 資金も組織も整っていて、世界クラスの教授陣が揃い、立地も美しいが、地理的、学問的に孤立している (しばらく学生は不在、と理解している)。
- ・ 将来は刺激的な場になりそうであるが、現状、科学的、社会的に孤立している。
- ・ 見事な研究施設 (潤沢な資金)。
- ・ 立派な研究施設という印象を受ける。
- ・ 研究実施に多大な支援を受けている良いところのように思われる。
- ・ 活力ある研究環境。ラボを通じてツアーに大変感銘した。
- ・ 良い、有望。
- ・ 素晴らしい。
- ・ たくさんの可能性を宿している。
- ・ 絶大な資源と卓越した科学者の両方を擁する研究センターという印象。
- ・ 素晴らしい。ただ、世界からは若干隔絶している。
- ・ 素晴らしい構想である。成功を祈念している。
- ・ 科学を楽しむ活動的な場である。
- ・ 優れて学際的、非常にオープンで刺激的で、恵まれた研究条件。多文化であるが、統合に向けた努力がさらに必要。
- ・ 印象深く、興味をそそる、創造的なストラクチャー。
- ・ とても良いところだ。沖縄が気に入っている。
- ・ 野心的な構想に基づく研究施設である。新キャンパスの開発がまもなく完成することを期待している!
- ・ 新キャンパスの建設立地に魅了された。
- ・ 素晴らしい環境であるが、遠隔の立地であることを考えると、希望通りの成長を遂げるのは困難かもしれない。
- ・ 有望な事業のように思われる。自由な学究の雰囲気気に入っている。
- ・ 素晴らしい構想である。成功を祈念している。
- ・ 良好な施設 - 非常に優秀な施設になる可能性がある。

3. OIST への求人応募を検討しますか

- ・ はい。(13)
- ・ はい、きっと。(2)
- ・ それは分からない。
- ・ しない。任期は終身であり、現在の勤務先の大学に大変満足している。ただ、私のポスドクに OIST への志願を推薦した。
- ・ 多分しない。科学自体は素晴らしいが、ここへの転居を妻に説得することはできないと思う。

- ・ 原則「はい」であるが、得失を十分に考えないといけない。
- ・ いいえ。単純に家族の問題のため。
- ・ はい。ただし、多分かなり短期間か、非常勤職のみ。
- ・ 現時点では、いいえ。
- ・ はい。有力な科学コミュニティの構築に協力しながら数年間研究に集中できるのは、非常に魅力的である。
- ・ すぐにではない。多分、数年後、コミュニティが形成された時に。
- ・ 多分、いつかある日、人生の別の時期に。
- ・ 就職先がなかったら、検討したい。
- ・ はい。ポスドクとして関心がある。
- ・ 検討したい。
- ・ 多分、一定期間ポスドクとして。
- ・ (一緒に勤務することになる PI だけでなく、アイデアを議論する環境なども含めて) 教授陣が私の研究ラインに一致すれば、多分はい。
- ・ 多分、数年後博士号を取得した時に。
- ・ ポスドクとして、はい。
- ・ 一つの可能性として、はい。
- ・ はい、ただし多分ポスドクとして。

4. もし応募する場合、沖縄に移る、または移らない、もっとも重要な要因は何ですか

- ・ 給与。
- ・ OIST は、そこで一定の時期を過ごす人たちのために成功のキャリアパスを確立(証明)しなければならない。つまり、OIST 後の将来がなければならない。
- ・ 家族(妻の仕事、子供の通学)。
- ・ 私にとって一番の心配は、沖縄の地理的位置。加えて、上に記した旅行規則など、課される規則のいくつかも悩ましい。
- ・ アクセス、家族。
- ・ 科学自体だけでなく、良好な生活の質も。
- ・ パートナー - 仕事など。
- ・ 家族のサポート、遠隔の立地、教授陣や学生の質、言葉の壁、研究プログラム。
- ・ 家族の非常時の旅費と移動時間。子供の学校と医療。
- ・ 研究支援: 財務(創始・運営コスト、ポスドク、旅費など)だけでなく、他の教授陣はどのような顔ぶれか、どのような共用便益が提供されるか(例えば、実験環境の構築のための作業室と技術者、招聘講演者によるセミナーと講演など)の点も含めて。
- ・ 活気に満ちた科学コミュニティ。
- ・ 移らない。文化の違いと、沖縄に大都市がないことが理由。日本語を話さない者にとっては、外国人の多く住む(東京のような)大都市の方が友人を見つけやすいから。
- ・ OIST 周囲の施設、交通の便 - 少し孤立しているため。
- ・ 親のいるところからの距離。
- ・ 私にとって本当に大切なのは、学究の自由であり、自分の考えを述べ、上司に同意しない自由である。これは、日本の文化とは相容れないのではないかと危惧している。また、孤立するのを避けるため、会議への出席など旅行の機会がたくさん提供されるかどうかも知りたいところである。
- ・ 私のパートナーの仕事の機会。
- ・ 興味深い島。
- ・ 言葉。
- ・ オファーが来るかどうか。
- ・ 自分の関心分野での研究の質。
- ・ 新キャンパスの開設後の生活の質と実際に OIST に赴任する教授陣の質。
- ・ 私にとって、最重要の要因は、恩納から主要都市までの距離だが、自動車を使えばそれほど問題にはならないと思う。
- ・ 研究環境。
- ・ 家族。
- ・ 研究テーマと一緒に働く人たちの顔ぶれ
- ・ 移りたい理由は、銅谷賢治が OIST にいること。
- ・ 移りたくない理由は、大都市から離れすぎていること(最新の科学ニュースを掌握しにくい)
- ・ 研究の質。実験主義者たる私にとって、はっきりしていないのは、1) 設備類を容易に入手できること(もっとも、銅谷と Wickens のラボを見学してこの心配は大部分解消されたが)、2) 他の科学者と十分な交流があること(サマースクールは素晴らしいが、それ以外の 48 週間はどうか)。妻が沖縄で仕事を見つけるのも難しいかもしれない。
- ・ 学究面での要因。どのような種類のプロジェクト、グループ、同僚か。
- ・ 遠隔立地を補うのに十分な旅費の予算が必要。最低 1 年に 2 回は帰省ができるように十分な休暇も

必要。

- ・ 沖縄に移るのに障害になる最大の要因は、OIST の遠隔立地であろう。島の他の場所を回るのに大変苦労し費用も嵩んだ。
- ・ 私にとって、最重要の要因は、恩納から主要都市までの距離だが、自動車を使えばそれほどの問題にはならないと思う。
- ・ まずは OIST での職位／プロジェクトによる。

5. OIST のプロジェクトに関して他の意見やリクエスト

- ・ 優れた構想だと思う。
- ・ OIST とホテル間のタクシーの問題は、自転車数を数台用意すれば解決する。
- ・ 電子メールニュースグループを設けてはどうか。10 年毎に OCNC プログラム全体の同期会を開いてはどうか（自費負担で、他の同期生と会いたい）。最終完成後の建物も見たい！
- ・ 非常に面白い構想。成熟段階でプロジェクトの発展を見るのも興味深い。
- ・ このまま進んでほしい…あなた方はすごいことをやっている。
- ・ 刺激的な事業であり、発展を期待している！
- ・ OIST は、大きな可能性を秘めていると同時に克服すべき困難な課題もある非常に意欲的なプロジェクトである。文化間のギャップを埋めるのは難しい仕事であるが、反面、考えの異なる研究者間のこうした協力は、いったん確立されると、ことのほか実りが大きいものであることも確信している。プロジェクトの発展を期待している。
- ・ 有名で、思慮深い PI をもっと多く手配してもらいたい。沖縄という場所はやや不利である。
- ・ OIST の進捗について最新の情報が得られるようにしたい。
- ・ 野心的なプロジェクトである。私の意見では、このプロジェクトは、初期から参加する PI の質にかかっている。遠隔の地ではあるが、最高の環境の中にいると感じられるなら、聡明な若い人たちは、参加することに喜びを覚えるだろう。
- ・ 幸運を祈る！

4. 全体的なコメント&提案

- ・ OCNC は素晴らしいコースだ。参加させてもらったことに感謝している。
- ・ 素晴らしいコース。組織、運営も見事。とても素敵な時間を過ごし、講師に招聘されたことに感謝している。将来戻ってきたい。小さな提案を一つ：バイク／自転車を 2、3 台使えるようにすると良いと思う。そうすれば教授陣も SH とリザン間をもっと楽に行き来できる。これで、（予約タクシーを使わなければ行き来できないこともなくなり）融通が増すことになる。
- ・ 首尾は上々。また会おう。
- ・ 大いにミーティングを楽しんだ。感謝している。自転車が あったら、もっと楽に OIST 周辺を動ける。
- ・ 来年戻れるかは確かでないが、将来コースに参加したい気持ちがあることは間違いない。このユニークなコースを可能にしてくれてありがとう。
- ・ OCNC2009 の講師として楽しんだ。機会を与えてくれてありがとう。
- ・ 1) 翌日の講演者に関心のある人のために数日毎のジャーナルクラブタイプの活動を提案したい。講演者の価値を最大源活用しない人がいるのは残念である。
- ・ 2) プログラムの 10 周年目に全 OCNC 参加者の同窓会を提案したい。そのときには同窓の人たちと再開し、新しい OIST の建物も見ることが出来る。
- ・ 3) 絆を維持し、記憶を新たにするために、また、OIST の最新情報を得るために、SFN で OCNC 同窓会／レセプションを毎年開催することを提案する。
- ・ 素晴らしいコースで、組織も見事。ポスターセッションは、やや短く、混んでいた。ポスターを後でも見られるように数日間壁や廊下のどこかにそのまま貼っておいたら、良かった。
- ・ 数学の方法論とアルゴリズムの学習を学生に促す努力がもっとあれば有益だったという印象がある。各種方程式を扱った入門講義は、発表の仕方がうまく、結構面白かったが、必要な数学の基礎知識とソフトウェアツールの使い方について十分に取り上げていなかった。他方、例えば、Mathjis von der Meer の Matlab チュートリアル、Oliver Gewaltig の NEST チュートリアルなど、チュートリアルは非常に有益だった。
- ・ OCNC2009 を成功させたこと、また、その一部として私を招いてくれたことに対して、主催者とスタッフに大いに感謝している。自身の教育／指導技能を高めるのにとても良い機会になった。教授陣、学生、チューターとの交流のおかげで、いろいろと良い発想が生まれ、将来の協力のための着実な基盤づくりもできた。しかし、先に述べたように、いくつかのケースで、講義に明確な学習ゴールがないと感じた。学生になにかを教えることを目的に設計されているのではなくて、研究の解説が主旨になっているように思われる。というのは、一部のケースで、内容がかなり技術的あるいは高度であるために、多くの学生が自分の既知の知識にこの新しい情報を結び付けられない、あるいはその他なんらかのかたちで積極的に関わって自分のものにすることもできないということが

あったからである。多分、もっと充実した、実践的チュートリアルや問題解決セッションのメニューがあれば、この面で効果的であると思われる（一部はチューター主体のものにし、講師主体のものも加える）。その場合に、学生には、こうしたチュートリアルの全部をかならず受けさせるのではなく、自分／自分のプロジェクトに最も関係の深いものを選択させれば良い。

- ・ 全体にコースの運営は卓抜で、講演者の選択も良かった。ただし、方法論（メソッド）の部分は改善の余地があると思う。方法論の講師は、研究の結果にあまり重点を置かず、純粋に理論を中心にすべきである。多分、その後チュートリアルでフォローする。
- ・ 著名な教授陣が一同に会しているチャンスを存分に活用するために、コース中に1回ないし2回、なにかのテーマでパネルディスカッションを見たい。
- ・ なにからなにまで大いに感謝している。
- ・ OISTでの時間は快かった。素晴らしいスクールを開いてくれた主催者に心から感謝している。非常に良い雰囲気、たくさん学んだ。他の学生や講師、チューターと時間を過ごせることは、コースの大きな利点であった。OISTで自分の時間にいろいろできた。
- ・ 私にとって本当に大切なのは、学究の自由であり、自分の考えを述べ、上司に同意しない自由である。これは、日本の文化とは相容れないのではないかと危惧している。同時に、孤立するのを避けるため、会議への出席など旅行の機会がたくさん提供されるかどうか知りたいところである。
- ・ たくさん学び、楽しい時を過ごし、多くの友人、連絡先ができた。ありがとう！
- ・ とても楽しく、とてもとても面白いコース。このような機会を設けてくれて本当にありがとう。
- ・ 全体に、沖縄で素晴らしい数週間だった。すこぶる楽しく時を過ごし、専門でもそれ以外でも、他の参加者と有意義な議論を交わした。
- ・ 素敵な施設を訪れる機会をもらって大変感謝している。
- ・ みなさんにしてもらったすべてのことに感謝している。
- ・ このきらめく経験にもう一度ありがとう。
- ・ 素晴らしい。もう一度みなさんに感謝したい（組織、講師、事務局、そしてOCNCを素晴らしいコースとして盛り立てるすべてのみなさんに）。
- ・ 準備をありがとう。OCNCに出席できて本当に嬉しい。つゆき、竹内さん、あつこ、本当にありがとう！！
- ・ とても楽しいコース。素晴らしい講演者と素敵な立地。教育と探求の申し分ないバランス。
- ・ 素晴らしい時を過ごした。この経験の内実を成す作業と思索のすべてについて、みなさんに大変感謝している。
- ・ 素敵な施設を訪れる機会をもらって大変感謝している。
- ・ すばらしいコース。十分に堪能した。大いに推薦したい。

ワークショップアンケート

Reinforcement and Attention Deficit Hyperactivity Disorder (ADHD)

強化学習の脳神経メカニズムと注意欠陥多動性障害

日付： 2009年9月8日～10日

回答数 19件（講師 8、参加者 9、他 [聴講者] 2）

1. 講義内容

優良(18), 良(1), 可(0), 不可(0)

- ・ 講演が多すぎるということはない。とても良かった。ディスカッションを気に入った。
- ・ 神経科学の基礎と臨床の組み合わせは申し分ない - 主研究グループの発表が良かった。
- ・ 素晴らしい発表→講演とディスカッションの一部について、もっと時間が与えられていれば、なお良かった。非常に啓発的で、とても良い学習経験であった！
- ・ 割り当て時間がちょっと短いことがあった。
- ・ 水準が非常に高かった。

2. 会場設備

優良(16), 良(3), 可(0), 不可(0)

- ・ 素晴らしい映写設備。そつなく、万事順調に運んだ。
- ・ 絶対的に美しい！
- ・ 考えの及ぶすべての点で、完璧！申し分なし。
- ・ マイクの使用をもっと促して。
- ・ シーサイドハウスは、素晴らしい会場 - テクノロジーの面で大したことではないがいくつか困ったことがあった。
- ・ 素晴らしい。

3. 宿泊施設

シーサイドハウス：優良(6), 良(2), 可(0), 不可(0)

- ・ 1カ所にすべてが揃っていて素晴らしかった。部屋は広々として設備は整っていた。
- ・ 大変便利で、とても素敵な立地！

4. 食事

優良(17), 良(2), 可(0), 不可(0)

- ・ 美味しかった。面白い風味で、バラエティも豊か。
- ・ ベジタリアン用の食事が素晴らしかった - ありがとう！
- ・ 食事の質とバラエティに感心した。
- ・ 抜群。

5. エクスカーション

優良(2), 良(9), 可(3), 不可(0), 該当せず(5)

- ・ ツアーガイドの話すストーリーがとても気に入った。島の国日本についてもっと話を聞きたい。
- ・ 万座毛までの旅はとても楽しかったが、店での時間が長すぎる（1時間15分）。もっと観光の方を増やしてほしい。
- ・ 沖縄をいろいろ見物するのは良かった。ビーチも美しかった。
- ・ エクスカーションをすっかり楽しんだ。時間が決まっている中でできることの範囲には制約があった。

6. 事務局

優良(16), 良(3), 可(0), 不可(0), 該当せず(1) ※1名は「優良」「可」の両方に回答。

- ・ 組織は素晴らしかった。万事順調に運んだ。問題はなかった。
- ・ とてもよく組織されていた。
- ・ できれば、最初に正確な旅行規則を知っておきたい。

- ・ 優秀で、親切なホスト！
- ・ 主催者として、ワークショップスタッフの尽力は素晴らしいと感じた。ワークショップでのコミュニケーション全般についていくつか提案がある。

7. 旅行の手配

優良(11), 良(3), 可(0), 不可(0), 該当せず(5)

- ・ もうこれ以上改善の余地はないほどだった。
- ・ シーサイドハウスへの／からの旅行については、便の支払い、予約の手配に少しトラブルがあった。そのためその後日本に残ることができた。しかしそうできて非常に感謝している。

8. 沖縄の印象

優良(17), 良(2), 可(0), 不可(0)

- ・ ここに居住。
- ・ 素晴らしい神経科学の研究機関、素晴らしい立地。
- ・ 残念ながら、探策の時間がなかったが、目にした限りで美しい印象をもった。探訪するのに素晴らしいところだ。

9. その他のご意見、ご提案

- ・ ありがとう！
- ・ 素晴らしいワークショップだった。非常に多くを学んだ。臨床疾患についてこれまでよりはるかに優れた洞察を得た。ADHDの臨床、基礎科学の研究者を結集させるのは素晴らしいアイデアだ。
- ・ 基礎科学者と臨床医間の対話を本当に楽しんだ。素晴らしい学習経験になった - フレンドリーで、学問的な環境のなか、実に多様な経験をもつグループに入って研究についてディスカッションするのは、とても良かった。ありがとう！
- ・ 素晴らしい会議だった。選ばれた学者、講師の水準は、最高だった。とても感動した。
- ・ この分野に関心のある現地の人（医師、臨床医、親など）が参加できていれば、もっと良くなっていただろう。
- ・ ことのほか楽しかった！ 本当にありがとう。
- ・ なし (2)

ワークショップアンケート

DNA Topology DNAトポロジー

日付： 2009年11月2日～7日

回答数 29件（講師 11、参加者 18）

1. 講義内容

優良(19), 良(8), 可(0), 不可(0), 未回答(3) ※1名は「優良」「可」の両方に回答。

- ・ テーマ間のバランスをもっととってはどうか。いくつか繰り返し（重複）があり、難しい問題が多すぎる。
- ・ 参加者が何を言ったか知りたい。発表のスタイルは、コース形式から研究の解説まで、様々であった。最も効果的に進めるにはどうしたらいいのだろう。
- ・ セッションが少し長すぎた。昼食時に休憩を長くし、その代わりに夕食後に追加セッションを設けたら良かった。とにかく夜間には何もすることがなかった。
- ・ 数学手法の演習は有り難かった。
- ・ もっとメカニクスを取り扱ってはどうか - 単一分子。
- ・ テーマは素晴らしかった。

2. 会場設備

優良(28), 良(1), 可(0), 不可(0)

- ・ 美しい会場。
- ・ 各座席個別に固定マイクを用意すれば助かると思う。
- ・ ワークショップに適した良い雰囲気。
- ・ これまでのなかで最高の施設。

3. 宿泊施設

シーサイドハウス：優良(16), 良(0), 可(1), 不可(0)

4. 食事

優良(20), 良(8), 可(1), 不可(0)

- ・ 地元の食べ物をもっと出してもらえれば良かった。

5. エクスカーション

優良(10), 良(12), 可(5), 不可(1), 未回答(2) ※1名は「優良」「可」の両方に回答。

- ・ 万座毛ポイントがすごく近い！ 午後水族館を見学できれば良かった。
- ・ 午後の時間全部を使って沖縄探訪する日があっても良かった。
- ・ 丸1日であればもっと良かった。
- ・ 個人的な好みであるが…水族館の類を見たかった。
- ・ 現地での時間がもっとあれば良かった。
- ・ 検査時間（censor time）をどうにかしてもらいたい。
- ・ 参加しなかった。
- ・ 該当せず。参加していない。

6. 事務局

優良(27), 良(2), 可(0), 不可(0)

- ・ 良いアシストだった。鈴木敦子さんとフィブス志乃さん、ご協力ありがとうございます。

7. 旅行の手配

優良(26), 良(4), 可(0), 不可(0) ※1名は「優良」「可」の両方に回答。

- ・ 便がビジネスクラスなら良かった。

8. 沖縄の印象

優良(19), 良(6), 可(0), 不可(0), 未回答(4)

- ・ OIST の外の生活を見るのに十分な時間はなかったが…目にした限りで印象は素晴らしかった!
- ・ まだ何も見ていないので、あまり言えない。
- ・ 素晴らしいと口にするには、沖縄を探索する十分な時間も余地もなかった。
- ・ 美しいところ。
- ・ 沖縄をあまり見物していない。多分、町に出たい人のため夜にバスを手配するのが良いと思う。
- ・ 分からない。探索する時間はなかった。
- ・ 目にした限りで気に入ったが、あまり多くは見えていない。

9. その他のご意見、ご提案

- ・ 素晴らしい仕事!
- ・ ありがとう!!
- ・ ポスターセッションを設ければ、参加者が自分の作業を発表できる。参加者の研究がワークショップのテーマに直接関係していない時にも、異分野間で学び高めあえる。
- ・ この機会を与えてもらって感謝している。コースは生産的で、かつ、楽しかった。
- ・ 1日、午後フリーの時間があれば良かった。
- ・ また別のコースを楽しみにしている。
- ・ 素晴らしい仕事! 大変ありがとう。
- ・ 参加者のためのポスターセッション。なにか夜遅くの活動。動いている時間に比べて座っている時間が長すぎるので、なにかスポーツでも。数学/生物学のグループに分けて、少数(1~3人)の講師の話。
- ・ 会議週間の途中に1日の休み。
- ・ 少なくとも1週間に1回は、午後の代わりに夜間にコース/講義を入れる。そうすればその日の2回目の講義セットの前に、昼間の活動や気軽なコミュニケーションが可能になる。
- ・ お互いの作業を知るために初日にポスターセッション。セッションを夜間にして、日中に自由時間を与える。
- ・ 一部発表者を除いて、どの発表も良かった。もっとパックスケジュールを増やして。
- ・ 会議の後もう1日あれば良かった!
- ・ これ以上なにも必要ない。
- ・ コース内容に生物学のパートをもっと加えるべき。主催者と、とくに Dr. Robert Sinclair、鈴木敦子、ありがとう。
- ・ 素晴らしいコース-ワークショップ。Dr. Robert Sinclair に脱帽する。
- ・ 始めは考えが狭かった。このコースは、私に新しい科学的考察をもたらしてくれた。コースは素晴らしかった。このコースの成功に尽力されたすべての方々が、素敵で素晴らしい人たちであったと申し上げたい。
- ・ テーマは良いが、私自身は、生物学と数学のもっとバランスのとれたアプローチを期待している(生物学的な点より計算の側面の方をはるかに詳しく取り扱っている)。
- ・ 本当に本当にありがとう。素晴らしい仕事。
- ・ ありがとう!
- ・ 会議期間をもっと長くすれば(2週間)、島や周辺を探索する機会が生まれるし、更におそらくは(とくに非ラボの人間、つまり数学畑の人にとって)活動中のラボを視察する機会も得られる。
- ・ 旅行手配の規則にもっと融通が利けば良くなると思う。

ワークショップアンケート

The Retina: Neural Stem Cells and Photoreceptor Degeneration

網膜：神経幹細胞と光受容体の変性

日付： 2009年11月9日～11月12日

回答数 28 件（講師 7、参加者 21）

1. 講義内容

優良(24), 良(4), 可(0), 不可(0)

- ・ 議論や質問のための時間があるのが有り難かった。
- ・ この分野の第一線で活躍されている研究者の皆さんのお話が聞けて、かつ知り合いになることが出来、大満足。
- ・ 招待講演やショート・トークも、講演の長さはちょうど良いと感じた。
- ・ 手配が隅々まで行き届いており、とても快適に過ごすことができた。一緒に行ったラボの若い人たちも帰ってから目を輝かせていた。印象に残るすばらしいミーティングだった。
- ・ 誘導された photoreceptor の移植や degeneration の抑制、人工網膜の話題など、再生医療の話題に関して、興味深く、幅広い構成であったと思う。もう少し、progenitor/stem cell の分化、増殖の basic な研究の話題があってもいいのでは、という印象は少し受けた。

2. 会場設備

優良(20), 良(8), 可(0), 不可(0)

- ・ スクリーンは見づらかったが、席の配置のおかげで交流が促進された。
- ・ とてもよい雰囲気だった。横の席で、スクリーンが少し見難かったのだけが残念。
- ・ 半円形の会議場でスクリーンが左右に1つずつだと、片方を使ったときに反対の端に座った時に少し見えにくいかもしれない。真ん中に1つ大きなスクリーンというのはどうか。

3. 宿泊施設

シーサイドハウス：優良(7), 良(8), 可(5), 不可(0)

- ・ 過ごし易い部屋だった。2人部屋は、今回自分には良かったと思う。しかし、事前に知らされてもよかったのでは、とは思った。
- ・ 相当快適だったが、もし改善するとすれば、デスクのいすが堅いので、その点を。インターネット環境が良く助かった。
- ・ 風が吹くとバタバタと音が鳴ってうるさかった。修理した方がいいと思う。(2Fの一番端の部屋)

4. 食事

優良(15), 良(13), 可(0), 不可(0)

- ・ エクスカーションの時のランチボックスは多すぎて食べられなかった。サンドイッチで十分では。
- ・ おいしかった。願わくは、もう少し沖縄色（沖縄らしい料理）があっても良いかもしれない。
- ・ 美味しく、楽しく、沢山頂いた。
- ・ 沖縄ならではのものも、もう少し出してほしかった。

5. エクスカーション

優良(10), 良(9), 可(4), 不可(0), 未回答(5)

- ・ 参加しなかった。(2)
- ・ 出席しなかった。
- ・ 私は先に発ったので、楽しむことは出来なかった。
- ・ 水族館の中をもっとじっくり見たかった。
- ・ エクスカーションの時間が十分ではなかったと思う。昼食時間がもっと短かったら、もっと時間が割けたら。
- ・ 水族館は素晴らしい。でも行事に利用できる時間を考えると、第二の選択肢を検討すべきだ。
- ・ 水族館での時間が短く残念だった。
- ・ 獅子舞、太鼓すばらしかった。
- ・ 楽しく過ごした。水族館には、家族でいつか行ってみたい。

- ・水族館でもっと時間があれば良かった。
- ・時間に余裕がほしかった。

6. 事務局

優良(27), 良(1), 可(0), 不可(0)

- ・何も不自由することもなく、快適にすごさせて頂いた。

7. 旅行手配

優良(24), 良(2), 可(2), 不可(0)

- ・いたれりつくせりだった。
- ・空港に最初到着した時にタクシー運転手と誤解があったが、フライト手配は良かった。
- ・とてもスムーズに往復できた。
- ・とても良く準備されておりストレスが少ない。

8. 沖縄の印象

優良(19), 良(9), 可(0), 不可(0)

- ・今回は、私にとって初めての沖縄だった。今度は、観光で行ってみたい。
- ・雨の降り方や、木々の様子が、南国だなあ、と感じさせてくれた。那覇から OIST に向かう道筋では、季節外れのせいか、少し寂れた印象を受けた。

9. その他のご意見、ご提案

- ・これは、今まで出席した最良の会議の一つだった。開学後は那覇空港から OIST への公共交通機関が改善されればよいと思う。
- ・とても良く準備されており、プレゼンテーションは高水準だった。会議のための環境は傑出していた。とても満喫した。ありがとう。
- ・このような素晴らしい会議をどうもありがとう。
- ・1. 旅行手配が参加者の好みに応じてされればもっと良いだろう。
- ・2. ワークショップ参加者がラボ体験をできればもっと申し分ないだろう。
- ・次回の「網膜」会議にとっても期待する。
- ・全般的に見れば、素晴らしい会議だった。しかし、ホテルや SH への交通がどのように手配されているかについて混乱があった。OIST スタッフが空港に来て説明してくれるか、到着前に情報が提供されるかすれば良いだろう。ありがとう。
- ・全体的に、ただもう素晴らしい会議だ。良く準備されていて科学的に大変優秀。ペースも順調。ありがとう！
- ・とてもいい会だった。内容が多岐にわたり、理解が難しくても、そういう分野がありそこで研究されている内容にふれられたことはとても刺激になった。個人的に会って話したかった先生とも会える機会をいただいた。帰りの空港までの交通費は個人負担でいいとも思ったが、なにからなにまでありがとう。
- ・網膜ワークショップはとても充実しており、全てがとても良かった。全ての手配に心から感謝する。しかしながら一点お伝えしたい。インド人男性が私達の部屋へ頻りに訪れ、私には居心地が悪かった。このような場合、彼らが同室になれないだろうか？どうもありがとう。
- ・大変お世話になった。どうもありがとう。
- ・全ての基準の面からして、これは良く準備された会議だ。この会議は大変長きに渡って記憶に残るだろう。素晴らしい！
- ・昼休みが少し長いと感じた。もう少し詰めても大丈夫だったかもしれない。贅沢をいえば、夜食用などパンの自動販売機もあればより嬉しかったと思う。
- ・大変充実した会だった。本当にありがとう。
- ・今まで経験した中で最高の会議。どうもありがとう。
- ・今年出席した中で最も有益な会議の一つだった。
- ・大変お世話になり、ありがとう。
- ・素晴らしい経験だ！ありがとう。
- ・本当に素晴らしいミーティングだった。ありがとう。

ワークショップアンケート

The 4th International Workshop on Cell Regulations in Division and Arrest

第4回分裂と停止の細胞制御

日付： 2009年11月29日～12月2日

回答数 49件（講師 32、参加者 17）

1. 講義内容

優良(47), 良(2), 可(0), 不可(0)

- ・ いくつか優良、ほとんどが良、いくつか可、いくつか不可。
- ・ 多種多様なトピックだが、多くを学んだ。

2. 会場設備

優良(47), 良(2), 可(0), 不可(0)

- ・ セミナールームは少し小さ過ぎる。

3. 宿泊施設

シーサイドハウス：優良(11), 良(4), 可(3), 不可(0) ※1名は「優良」「可」の両方に回答。

- ・ 2人部屋でなければ優良だった。

4. 食事

優良(40), 良(9), 可(0), 不可(0)

- ・ 素晴らしい食事があれば、話にならないものもあった。
- ・ もう少し日本食があっても良い。

5. エクスカーション

優良(19), 良(25), 可(2), 不可(0), 未回答(3)

- ・ 参加しなかった。

6. 事務局

優良(48), 良(1), 可(0), 不可(0)

7. 旅行手配

優良(44), 良(3), 可(1), 不可(0), 未回答(1)

- ・ 自分で手配した。

8. 沖縄の印象

優良(39), 良(9), 可(1), 不可(0)

- ・ 沖縄は今回が初めてではない。

9. その他のご意見、ご提案

- ・ とても良い学会だった。
- ・ 大変ありがとう。
- ・ ありがとう。
- ・ どうもありがとう。
- ・ 空港からのシャトルバスは国際線ターミナルも経由すべき。
- ・ 皆ありがとう。とても良いミーティングだ。
- ・ 私の現在の研究関心にちょうど合っていた！
- ・ ありがとう！！
- ・ 手厚いもてなしをどうもありがとう。
- ・ このような優秀な学者が一同に会し議論できる重要なミーティングに参加でき、とても嬉しい。柳田先生と彼のスタッフに大いに感謝する。

- ・ 美しい立地での素晴らしい会議だ。全ての主催者とサポートスタッフに感謝する。
- ・ とても素晴らしいミーティングだ。招待してくれてありがとう！

ワークショップアンケート

OIST Winter Course “Evolution of Complex Systems” (OWECS) 2009

ウィンターコース「複合システム進化コース」2009

日付： 2009年12月6日～12月13日

回答数 28 件（講師 3、参加者 25）

1. 以下の点に関して、コースの印象はいかがでしたか

1. 講義内容

優良(24), 良(3), 可(1), 不可(0)

- ・ 講演者は全員、面白く、知識豊かで、議論は大変内容が濃かった。
- ・ 時々、細部に入りすぎることがある - もっと一般的な内容にすれば、誰でも何か学ぶことができる。

2. 会場設備

優良(25), 良(3), 可(0), 不可(0)

- ・ シーサイドハウスは、細かいところまで神経の行き届いたとても素敵なところだ。

3. 宿泊施設

シーサイドハウス：優良(13), 良(11), 可(1), 不可(0)

- ・ 部屋は全体に良かったが、シャワーだけでなく、風呂にも入りたい。
- ・ 部屋は非常にすてきで清潔。

4. 食事

優良(20), 良(8), 可(0), 不可(0)

- ・ 弁当は毎日同じだった。変化があった方がよい。
- ・ 食べ物はいつも素晴らしかった。
- ・ 昼食は良くない。

5. エクスカーション

優良(15), 良(12), 可(0), 不可(0), 未回答(1)

- ・ 水族館の代わりに、「古の」沖縄からどこか見学するのも面白かったと思う。古城とかどうだろう。
- ・ 見学の時間がもっと必要。
- ・ 水族館が良かった！ もっと時間がほしい。
- ・ 水族館はとても楽しかった。
- ・ 日本の伝統的な文化の場所も見たかったと思う。

6. 事務局

優良(25), 良(2), 可(0), 不可(0), 未回答(1)

- ・ 大変お世話になった。鈴木敦子、ありがとう。

7. 旅行の手配

優良(23), 良(3), 可(2), 不可(0)

- ・ スケジュールにもっと融通を利かせてもらいたい。つまり、沖縄にもう少し長く滞在するオプションが欲しい。
- ・ 旅行代理店の仕事は上々で、万事抜かりなかった。まったく問題ない。
- ・ 沖縄探策にもう数日滞在を延ばせるよう融通を利かせてもらったらありがたい。

8. 沖縄の印象

優良(19), 良(7), 可(2), 不可(0)

- ・ 沖縄は小さな楽園で、シーサイドハウスの立地は申し分ない。
- ・ 沖縄をあまり見ていないので特に印象はない。
- ・ 美しいところ！
- ・ 立地は素晴らしいが、那覇はあまり見学していない。

9. その他のご意見、ご提案

- ・ 素晴らしいワークショップ。このままあまり変えないでほしい。
- ・ よく準備された刺激的なミーティングだった。学生との交流は楽しく、ミーティングの大きな部分だった。提案として、学生の半分が初日の午後に発表し、2日目の午後にもう半分が発表するようにしたら良い。
- ・ 1日2ないし3講義、プラス各回1時間のディスカッションが最適。
- ・ 大変ありがとう。
- ・ 私には枕が硬い。
- ・ 私には、フィールドワークコースの実験が必要。
- ・ 半日オフがあって、市内を周遊できたら良いと思う。
- ・ いろいろ買い物して回りたい人には残念。
- ・ ワークショップで、実地の実験から手法を学ぶようにすれば、有益であろう。講義は良いが、話の時間が多すぎる。実践／実験のパートを追加すると良いと思う。
- ・ 市内あるいは沖縄観光の旅行をもっと増やしてほしい。行き方を教えてほしい。
- ・ 9時前に部屋に続く廊下には清掃員は来ないで！時差ぼけの人が、できるだけ長く眠れるようにしてほしい。
- ・ これまで出席した中で最高の会議。招いてくれて本当にありがとう。
- ・ 今まで出席した中で最高の会議。OISTにいきたくなってきた！
これまでに受けたことがない素晴らしいコースで、研究をこれから進める上で、ひとつの転機にもなりそう。スケジュールも詰め込み過ぎず、逆に物足りないこともなく、講師もこのコースのことをよく理解して準備されていたのが印象的だった。多くの人と共有できにくいことだけが不満の、素晴らしいコースだった。
- ・ これまで出席したなかでも絶対に卓越した会議。参加者の混ざり合い、交流も、ディスカッションも良かった。講師からあらゆる洞察を吸収するのにスケジュールは申し分なかった。

2. 将来のコースについての提案

1. もし来年もこのようなコースが開催されたら、同僚に申し込みをするよう勧めますか

- ・ はい。(12)
- ・ もちろん。(4)
- ・ はい、もちろん。
- ・ もちろん、はい。
- ・ はい、必ず。
- ・ きっと。
- ・ コースに実践（実験）のパートがあるなら、同僚に推薦したい。
- ・ 間違いなく。
- ・ 絶対にはい。
- ・ 絶対。OWECS 2008 に出席した同僚がコースについて教えてくれたので幸運だった。喜んで、来年のOWECSを世界に宣伝したい。
- ・ はい、そうしたい。
- ・ はい、Evolution ウェブサイトで宣伝してほしい。
- ・ はい。同僚の大半はもっぱら微生物系を専攻している。
- ・ 間違いなく!!!

2. コースの長さ（6日間は長いですか、短いですか）

- ・ ちょうど良い。(2)
- ・ 申し分なし。(2)
- ・ 最善。(2)
- ・ 私としては良いのだがPIとしては他にも仕事いろいろあるため、6日間はちょっと長すぎる。
- ・ ちょうど良い。
- ・ どちらとも。
- ・ 結構いい。
- ・ OK。
- ・ 良い。6日間はぴったり適した長さ。

- ・ 講義の数は同じまま、コースはもう少し長くしてもらいたい。
- ・ ぴったりの長さ。たくさん学んだ。
- ・ 6 日間がぴったり。
- ・ 若干長い。
- ・ 6 日間は十分な長さ。ただし、やはり周囲から孤立した場所であるため、夜間には実験をするか、観光をするか、なにか活動することが必須。
- ・ 長い。
- ・ ちょうどぴったり。
- ・ ちょうど良い。
- ・ ちょうど良い。
- ・ 6 日間は、ちょっと長い。中断する時間が多かった。期間を減らして 1 日当たりの話の時間を長くすれば良いかもしれない。
- ・ ちょっと長い (3~4 日で良いかも?)。
- ・ 短い。
- ・ 申し分ない – あまり短いと旅行の価値がない。長すぎると、やはり長すぎる!
- ・ 理想的 – 私なら変えない。
- ・ 十分な長さ。
- ・ ちょっと短い。

3. 講師と参加者との間で十分に交流が持てましたか

- ・ はい。(17)
- ・ いいえ。
- ・ はい。申し分なし。
- ・ はいといいえ。宿泊場所が別で、夜に離れるのは残念。
- ・ OK。
- ・ そう思う。
- ・ 講師と学生が交流する時間が多くある。
- ・ そう思う。
- ・ 間違いなく。
- ・ くれた交流の場となる夕食に講師が同席せず、がっかりしたことがあった。
- ・ 十分。
- ・ まさに十二分に。

4. 今後取り上げるテーマや招聘講師の提案

- ・ 古生物学 (Charles Marshall/ Graham Budd) を入れると有益かもしれない。他にも提案があるので別送する。
- ・ 形態学のテーマを増やしてほしい。
- ・ 申し分なしに決まっている。多くのことを学んだ。
- ・ 寄生動植物。
- ・ 神経生物学、行動の脳メカニズムなど。
- ・ 生物情報学の実践コース。
- ・ モデル有機体。
- ・ 1. 遺伝子はどのように変異するか 2. 遺伝子を順序付け&トレースする方法 3. chip-chip 法実験など、実験テーマを提案したい。
- ・ 脊索動物の進化をもっと。
- ・ Nicole King、Chris Lowe、Greg Wray、Billie Swalla、Sean Carroll、Patrick Lemaire。
- ・ 細胞生物学、数理発生生物学の講師を招聘してもらいたい。
- ・ 複雑性を定義するもの。
- ・ 有機体の共進化とその微生物コミュニティ (つまり生態発生学)。
- ・ 無脊椎動物と脊椎動物の生態発生学の総合は実に素晴らしい。「極端な環境における生命」のテーマを追加してもらいたい。→ 生態発生学。
- ・ 生態進化発生学を含む複雑システムの進化。Liz Robertson (オックスフォード) ; Peter Holland (オックスフォード) ; Scott Gilbert; Chris Lowe (シカゴ/スタンフォード) ; Sean Carroll (ウィスコンシン) ; Jean-Francois Brunet (ENS、パリ)
- ・ 比較ゲノミクス、分子進化。
- ・ 招聘講師として Dr. Mike Levine (カリフォルニア大学バークレー校)。

3. OISTについて

1. OIST をどのように知りましたか

- ・ 同僚から。(2)
- ・ 同僚から (日本人)。
- ・ 自分の同僚から。
- ・ 会議のメンバーの一人と会って OIST のことを聞いた。
- ・ 組織委員会のメンバーから情報を得た。
- ・ Nature 誌で。
- ・ Marine Genomics で。
- ・ ウェブサイトで。
- ・ その開設時から。
- ・ コースを紹介する科学雑誌の広告で。
- ・ 日本人なので、友人から聞いて知った。
- ・ 昨年参加した仲間から教えてもらった。
- ・ 貴機構のホームページから。
- ・ OWECS 2008 に参加した同僚からコースと機構について聞いた。
- ・ ニュースで。
- ・ 友人から。
- ・ コースから。
- ・ バークリーでカワシマタケシが教えてくれた。
- ・ 沖縄が好きで、海洋生物を愛している。それで、OIST の進捗を追跡している。
- ・ 自分のアドバイザーから。
- ・ 同僚が OIST に勤務していることで。

2. OIST の印象

- ・ 非常に良い。(2)
- ・ 非常に有望。
- ・ 非常にポジティブ。
- ・ 良い。
- ・ すごい。
- ・ 外国の PI が多い。
- ・ OIST は、若干孤立しているが、非常にモダンで明るい科学環境のように思われる。
- ・ 良いところだが、最近日本で起こった政権交代が気になる。
- ・ きれい。
- ・ OIST は、若くて有望な機構だ。
- ・ 立派な施設とオープンな雰囲気。
- ・ 素晴らしい！
- ・ 大きな可能性を秘めた魅力的な機構。
- ・ 非常に美しい。
- ・ とても良い。
- ・ 新しい建物を見ただけだが、素晴らしい。
- ・ 有力な機構の一つになるようにすべてが組織されている。
- ・ 非常に有望なプロジェクトだと思う。十分なサポートがあるように思われるが、立地に難があるかもしれない。
- ・ 非常に美しい。
- ・ 素晴らしい活動環境。
- ・ 大変魅力的 - 可能性はすこぶる大きい。
- ・ 素晴らしいところ！
- ・ 非常に魅力的な取り組みをされている。
- ・ 優れて国際的！
- ・ 斬新、国際的、恵まれた景観。
- ・ 非常に新しく、素敵。

3. OIST への求人応募を検討しますか

- ・ はい。(6)
- ・ はい!!!
- ・ 多分。(2)
- ・ いいえ。もっとも、これは現在すでに確たる地位にあるため。
- ・ はい。ただし、今はできない。
- ・ はい。面白いプロジェクトがあれば。
- ・ 近い将来ではないが、一つの可能性として検討したい。できれば、なんらかの種類の共同研究を発足させることを真剣に検討したい。

- ・ 将来なにかあれば。
- ・ はい。OISTでの研究について詳しい知識を得たうえで、検討するかもしれない。
- ・ そうしたいと思っている。
- ・ 分からない。
- ・ OISTにはサバティカルポジションに応募したい。沖縄をまだ十分に見ていないので、ここに住むかどうかは分からない。
- ・ 間違いなく。
- ・ 自分で良ければ・・・
- ・ 応募について考えるのは、自分のキャリアのごく初期で、と思っている。なにか刺激的な研究があれば、ポストドクへの応募を検討するかもしれない。
- ・ しない。
- ・ 当然する。
- ・ 沖縄は、家族の元から遠すぎる。

4. もし応募する場合、沖縄に移る、または移らない、もっとも重要な要因は何ですか

- ・ ユニット間、施設間の相互交流。
- ・ 金。
- ・ 言葉（日本語を話す、知ることがまだかなり重要）。
- ・ 宿泊設備と毎日の買い物。
- ・ 沖縄が美しい場所であること。
- ・ ポジションがどの程度安定したものか、どれぐらいの期間ここで働けるか。
- ・ 家族にとって良い環境。
- ・ 沖縄が好き。
- ・ 一つの重要な要因は、交通手段。参加者として、我々は、機構の外に対して非常に孤立していた。島を探策する機会もなかった。島の良さを知るには、もっと見る必要がある。
- ・ とくにない。
- ・ 暑い夏。
- ・ そうした要因はない。だれでもここへ来たいと思う。
- ・ （少なくとも私自身に関して）ここに移るのに妨げになるかもしれない一つの要因は、近くに都市部がないように思われる点だ。
- ・ 本土から離れすぎている。
- ・ 活動環境。
- ・ 私の場合、（移る）理由は1. 素晴らしい施設と科学 2. 国際環境 3. 海！
- ・ OISTの将来構想がどれくらいはっきりするかどうか。
- ・ 移る - 研究環境が良い。移らない - 良い図書館がない。車の運転が必要。
- ・ 学術環境、外国人に関する政策。
- ・ 研究環境。

5. OISTのプロジェクトに関して他の意見やリクエスト

- ・ 非常に豊かな可能性。
- ・ OISTの近くにコンビニが欲しい。
- ・ 理解の容易でない有機体の研究によって生命の進化を理解しようとする努力の面で、日本の講師に大変感銘を受けた。
- ・ コースが繰り返しの時は、実験によるテクニック研修を追加し、機構の外で夜の活動を手配してもらいたい。
- ・ 最良の場所の一つ。
- ・ そのまま努力を続けて◎。
- ・ 託児所施設。
- ・ サンゴ礁／鞭毛藻の進化に関するあなた方の研究について知識をさらに深めることに関心がある。
- ・ OISTに入る方法について知りたい◎。
- ・ 有望なプロジェクトだ。
- ・ 研究分野の先駆者から歴史的背景とホットなテーマについて学ぶのは本当に刺激的だ。
- ・ なし。
- ・ ない。

4. 全体的なコメント&提案

- ・ ボート周遊／プランクトン採集を企画して現地の多様性についてもっと学ぶようにすれば有益かもしれない。
- ・ OISTで良い経験をした。自分は英語をもっと真剣に実践学習しなければならない。

- ・ OIST の最新のラボを見学する機会があれば素晴らしい。
- ・ 私にとっては、このワークショップに参加するのは本当に面白い機会だった。連絡をとり合い、共に研究を検討したい。
- ・ 冬季コースで参加するこのような素晴らしい機会を提供してもらって大変感謝している。
- ・ 会議は非常に有益だった。講師はとても良かった。しかし、期待したほど多くは得られなかった。このコースは、ミニのウッズホールあるいはコールドスプリング港コースになると思った。その際には、私はいくつかのテクニックについて講義し学習しよう。テクニック研修を追加すれば、もっと良いコースになると思う。また、島を知るために夜間の活動も必要である。沖縄を見物しなかったのも、沖縄で働きたいかどうかは言えない。時には食事を機構から離れた場所にしてもらいたいのと、なにか島観光があったら、沖縄についてももっと詳しく知るのに役立つと思う。ワークショップをまとめるのに立派な仕事をされた主催者と事務局のみなさんに感謝する。
- ・ 今回のコースは本当にゴージャスで感動した。皆さん本当にありがとう。
- ・ **OWECS** に参加する機会を得られて大変感謝している。ここは美しいところで、会議は全般に非常によく組織されていた。国際的な進化発生学コミュニティの面々とミーティングができて幸いであつた。将来日本にまた来ることを楽しみにしている。
- ・ ありがとう。
- ・ 多分、ちょっとウッズホールのコースに似たような、モデルシステムとテクニックを発見するラボ時間を追加するのも良いと思う。招いてくれてありがとう！
- ・ **OWECS2009** に出席する機会を与えられて大変感謝している。将来共同で仕事をできることを期待している！
- ・ 現地の海洋生物を使って研究の可能性を探るために、海洋フィールドコースを企画するのも良いかもしれない（**OWECS** と併せての実施も可能だろう）。
- ・ 新大学院生として、進化発生学に触れ、刺激的な人たちとお会いする素晴らしい機会をもらって感謝している。講演者の顔ぶれは本当に卓越していて、そのすべての講義が非常に啓発的である。この分野の最も重要な方向はどちらになるのか知る良い機会である。面白いアイデアを生み出すのにも有益である。この素晴らしいワークショップの主催者とスタッフのみなさんありがとう。
- ・ みなさんの親身のサポートに大変感謝している。
- ・ 理解の容易でない有機体の研究によって生命の進化を理解しようとする努力の面で、日本人の熱心さに大変感銘を受けた。
- ・ ここに来る機会を与えてもらって感謝している！

ワークショップアンケート

Garuda One ガルダ・ワン

日付： 2010年2月23日～25日

回答数9件（講師6、参加者3）

1. 講義内容

優良(7), 良(2), 可(0), 不可(0)

2. 会場設備

優良(7), 良(2), 可(0), 不可(0)

4. 食事

優良(4), 良(5), 可(0), 不可(0)

5. 事務局

優良(9), 良(0), 可(0), 不可(0)

6. 旅行手配

優良(7), 良(2), 可(0), 不可(0)

7. 沖縄の印象

優良(6), 良(3), 可(0), 不可(0)

8. その他のご意見、ご提案

- ・ 全ての助けともてなしにありがとう!!!!
- ・ 太陽に恵まれて滞在できたおかげで雰囲気がとても良くなり、幸運だった。
- ・ ワークショップを大変楽しいものにしてくれたOISTスタッフに感謝。
- ・ 昼食の弁当にもっと選択肢があればもっと良かった。
- ・ 遅延にも関わらず辛抱強く待ってくれたタクシー運転手に感謝した。
- ・ 素晴らしいもてなしを本当にありがとう。